

標準仕様

工 程	材 料		稀釈割合	所要量	塗回数	乾燥時間	
						工程内	工程間
上塗り	ダイアナチュラルフツン	A液 (基 剤) B液 (硬化剤)	14kg 2kg 2～4% 0～2%	0.2～0.3kg/㎡ 53～80㎡/セット	2	5時間以上 3日以内	—

*1 乾燥時間は、温度23℃、湿度50%の場合です。冬期、夏期では、温度、湿度によって乾燥時間にかなりの差異がありますので注意して下さい。 *2 所要量は、下地の形状・状態により変動します。
*3 ダイアナチュラルフツン調合後の可使用時間 春秋：5時間以内 夏：3時間以内 冬：8時間以内 です。 *4 既存塗膜の劣化や、下地の吸い込みが著しい場合は下塗材（ダイヤガンコシーラーマイルド）を使用して下さい。

塗装する下地の種類や状況に応じて下塗りを選定することができます。

アクセシエゴ仕様（一般的な塗装面の改修）

下地調整		下地に付着している塵、汚れ、油脂類及びレイタンス、エフロ等は完全に除去して下さい。また、現状塗膜の脆弱な部分または浮きや剥離部分は充分除去し、必要に応じて下地補修を行って下さい。					
1	下塗り	ダイヤアクセシエゴ 清水	中毛ローラー	16kg 0.8～1.6%	0.6～1.0kg/㎡ 16～26㎡/缶	2	5時間以上 16時間以上
	下塗り	ダイヤアクセシエゴ 清水	多孔質ローラー	16kg 0.4～0.8%	0.8～1.0kg/㎡ 16～20㎡/缶	1	— 16時間以上
2	上塗り	ダイアナチュラルフツン ダイヤシンナーN	A液 (基 剤) B液 (硬化剤) スプレー 刷毛・ローラー	14kg 2kg 2～4% 0～2%	0.25～0.35kg/㎡ 46～64㎡/セット	2	5時間以上 3日以内

* 下塗りのスプレーの仕様も可能です。別途仕様書をご確認下さい。
* ダイアアクセシエゴを中毛ローラーで施工する場合、既存塗膜の劣化状態によっては、浸透した溶剤による膨潤等の不具合が発生することが考えられます。
* 多孔質ローラーでの施工をおすすめしますが、中毛ローラーで施工される場合は2回塗などの措置を講じ、0.6kg/㎡以上の塗布量を確保するようにして下さい。
* ダイアアクセシエゴの代わりにダイヤアクセシエゴもご使用いただけます。 * 既存塗膜の劣化が著しい場合やセメント系下地の場合は、工程1の前にダイヤガンコシーラーマイルドまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。

アクセシフィラーダンセイ仕様（防水形外装薄塗材E、可とう形外装薄塗材E、防水形複層塗材Eなどの改修）

下地調整		下地に付着している塵、汚れ、油脂類及びレイタンス、エフロ等は完全に除去して下さい。また、現状塗膜の脆弱な部分または浮きや剥離部分は充分除去し、必要に応じて下地補修を行って下さい。					
1	下塗り	ダイヤアクセシフィラーダンセイ 清水	中毛ローラー	16kg 0.8～1.6%	0.6～1.0kg/㎡ 16～26㎡/缶	2	5時間以上 16時間以上
	下塗り	ダイヤアクセシフィラーダンセイ 清水	多孔質ローラー	16kg 0.6～1.0%	0.8～1.0kg/㎡ 16～20㎡/缶	1	— 16時間以上
2	上塗り	ダイアナチュラルフツン ダイヤシンナーN	A液 (基 剤) B液 (硬化剤) スプレー 刷毛・ローラー	14kg 2kg 2～4% 0～2%	0.25～0.35kg/㎡ 46～64㎡/セット	2	5時間以上 3日以内

* 下塗りのスプレーの仕様も可能です。別途仕様書をご確認下さい。
* ダイアアクセシフィラーダンセイを中毛ローラーで施工する場合、既存塗膜の劣化状態によっては、浸透した溶剤による膨潤等の不具合が発生することが考えられます。
* 多孔質ローラーでの施工をおすすめしますが、中毛ローラーで施工される場合は2回塗などの措置を講じ、0.6kg/㎡以上の塗布量を確保するようにして下さい。
* 既存塗膜の劣化が著しい場合やセメント系下地の場合は、工程1の前にダイヤガンコシーラーマイルドまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。

鉄部・金属屋根仕様

下地調整		錆、及び劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いて除去し、SSPC SP-3 (ISO St3+2種ケレン) まで除錆して下さい。素地に付着しているゴミ、汚れ、油脂類、粉類等は完全に除去して下さい。					
1	下塗り	ダイヤヒスイエゴサビ#200A ダイヤシンナーN	A液 (基 剤) B液 (硬化剤)	14.4kg 1.6kg 0～2%	約0.16kg/㎡ 100㎡/セット	1	— 4時間以上 7日以内
	上塗り	ダイアナチュラルフツン ダイヤシンナーN	A液 (基 剤) B液 (硬化剤) スプレー 刷毛・ローラー	14kg 2kg 2～4% 0～2%	0.2～0.3kg/㎡ 53～80㎡/セット	2	5時間以上 3日以内

* SSPC --- Steel Structures Painting Council (アメリカ鉄鋼構造物塗装審議会) ISO --- International Standard (ISO 8501-1:1998)

窯業セメント系屋根および窯業サイディング仕様

下地調整		ゴミ、ほこり、カビ、藻等は、きちんと除去して下さい。洗浄は高圧水洗浄ができない場合は、水を流しながらデッキブラシ等で清掃して下さい。洗浄後は十分に乾燥させて下さい。旧塗膜が劣化して、浮いたり、割れたり、膨れたりしている場合はきちんと除去して下さい。溝の部分、重ね箇所など急に清掃して下さい。					
1	下塗り	ダイヤガンコシーラーマイルド	A液 (基 剤) B液 (硬化剤)	14kg 1kg	0.1～0.3kg/㎡ 50～150㎡/セット	1～2	2時間以上 3日以内
	上塗り	ダイアナチュラルフツン ダイヤシンナーN	A液 (基 剤) B液 (硬化剤) スプレー 刷毛・ローラー	14kg 2kg 2～4% 0～2%	0.25～0.35kg/㎡ 46～64㎡/セット	2	5時間以上 3日以内

* 厚形スレート瓦、コンクリート瓦、アスファルトシングル及び金属系屋根瓦の改修には適用できません。 * フッ素エナメルおよびアクリルシリコンエナメル面の改修についてはご相談下さい。
* 窯業セメント系屋根の水切り部でコロンアル、カーベストの上下の重なり部分が塗料でつまっている場合は必ず皮キ・カッターなどを用いて縁切を行って下さい。

■ 施工・管理上の注意

- 【塗装面の調整（新設）】
 ① 素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レイタンス等を完全に除去して下さい。
 ② セメント質下地は、表面の含水率10%以下（pH10以下）になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
 ③ 雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
 ④ PC/パネル、現場打ちコンクリートの場合
 1) 豆板、木コン、破損箇所、不陸などは、セメントフィラー、セメンジャス#2000、セメンジャス#2500、リマメル#70等の下地調整材使用し、補修して平滑にして下さい。
 2) 表面が緻密でレイタンス層がある場合は、レイタンスを除去し、ダイヤガンコシーラー又は、ダイヤシンナーエゴをご使用下さい。
 ⑤ ALCパネルの場合はダイヤカチオンフィラーを塗布して下さい。
 【塗装の調整（改修）】
 ① 塵上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
 ② 使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。
 ③ 各現場の改修工事仕様に基き劣化部分の補修や既存塗膜の処理（ケレン、清掃、高圧水洗浄）などを行って下さい。
 ④ 弱溶剤が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
 ⑤ ショーキングは、ガンター、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。
 ⑥ リンシ塗、付付けタイル面、弾性塗材面等の既存塗膜でアクリルシリコン系まで適用できます。フッ素系下地は適用できません。また既存塗膜の種類により所要量は変わります。
 【材料の保管・管理】
 ① 開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨を避けて保管して下さい。
 ② 材料の保管は凍結や湿度上昇による変質を避けるため、気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
 ③ ①の取扱いを厳格に守り、水気や換気に十分注意して下さい。
 ④ ダイアナチュラルフツン、ダイヤシンナーN、ダイヤガンコシーラーマイルド、ダイヤヒスイエゴサビ#200A
 【施工】
 ① 気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨（雪）養生をして下さい。
 ② 材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
 ③ 材料は付着乾燥しますと取れませんので、完全に養生をして下さい。塗面周辺の

- 養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残りやすくなります。
 ④ 乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
 ⑤ コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
 ⑥ 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じの原因となります。
 ⑦ 施工の原因としては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
 ⑧ 施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
 ⑨ 本塗料に入る前に試験塗を行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないように確認して下さい。
 ※ 希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。
 ※ 常に確認が発生する地域、時期の施工は避けて下さい。
 ※ 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
 ※ 一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
 ※ 塗装下地の状態によって、塗布量が変わる場合があります。
 ※ 付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用場合は最寄りの営業所へご相談下さい。
 ※ 使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
 ※ 濃色や原色に近い色の場合、強くこすると色が取れる場合があります。
 ※ 下地の吸込みムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
 ※ シーラーと上塗りを混合するとゲル化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。
 ※ 上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
 ※ 既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合は高圧水洗浄後にダイヤガンコシーラーまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。
 ※ 材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
 ※ 小出し調合する場合は、混合比のずれが生じないよう、必ず台秤・上皿電子天秤等を用い、重量比の配合割合は厳守して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
 ※ ダイアナチュラルフツンを施工する場合は、A液、B液混合後15～20分程度熟成して下さい。色によってムラになる場合があります。
 ※ 施工後、塗膜が乾燥するまでに、降雨などにより水分の影響を受ける状態が継続された場合、低汚染機能が発現しないことがあります。乾燥までに降雨や積雪、結露が予想される場合は施工を避けて下さい。

- ⑩ 予想外の降雨などが発生した場合は、シート養生などを行い塗膜が濡れないよう対策を講じて下さい。
 ※ 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。雨掛りでない部位や割縫、水切りが不十分な面や窓まわり及びその下側面などは、低汚染機能が発揮しないことがあります。
 ※ シーリング材などに含まれる可塑剤、煤煙や油類、サビ質などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。
 ※ 上塗は塗布量を厳守し均一に施工して下さい。塗布量が少ない場合は低汚染機能が十分に発揮されません。
 ※ 塗布面の吸い込みが大きい場合は、下塗などにより吸い込みを少なくし、上塗が塗布面に吸い込まないようにして下さい。表面に上塗材が十分に確保されていないと低汚染機能が発揮されません。
 ※ A液とB液は指定の割合で調合し、電動攪拌機を用い十分に混合（2分以上）して下さい。
 ※ A液とB液の混合比率が不適切であったり、B液を調合していなかった場合は、低汚染機能が発揮しません。
 ※ タッチアップに使用する場合は、上塗のA液、B液の缶を良く振り、沈殿分離していないものを指定の割合で計量調合し、電動攪拌機を用い同時に混合し使用して下さい。
 ※ A液とB液の混合後は可使用時間以内に使用して下さい。可使用時間を越えて使用した場合、作業性や仕上り、汚染機能が発揮しない場合があります。
 【安全衛生上の注意】
 ① 取扱いには、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
 ② 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
 ③ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
 ④ 作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
 ⑤ 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
 ⑥ 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 ⑦ 眼に入った場合、目に入った場合は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 ⑧ 中身を使い切った場合は、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
 ⑨ 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
 【その他】
 ① その他、詳しくは最寄りの営業所へお問い合わせ下さい。
 ② 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認ください。
 ③ 施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート（SDS）をご確認ください。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社と統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

（'23.11現在）243,200 SJ

DIA 永く美しく守る

ダイアナチュラルフツン



ダイヤナチュラルフツソ

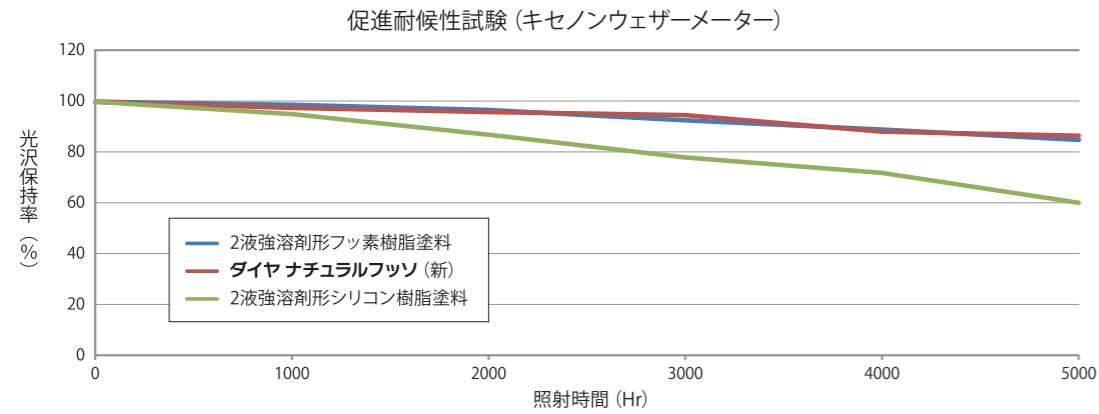
超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドフツ素樹脂塗料（柔軟形）

優れた耐候性を持つフツ素樹脂塗料に柔軟性をもたせ、最新のラジカルコントロール技術により、塗膜の劣化要因を制御して従来の弱溶剤形フツ素樹脂塗料の枠を超えた耐候性能を実現しました。一般外壁から鉄部・屋根への塗装まで広範囲な用途に使用できます。

高耐候性

塗装後の美しい仕上がりをさらに永く保ちます。

弊社、強溶剤系フツ素樹脂塗料に匹敵する耐候性能を実現しました。次の修繕塗装工事までの時間をさらに長く計画したい方にお勧めです。（20年を超える修繕塗装計画をお考えの方にお勧めです。）

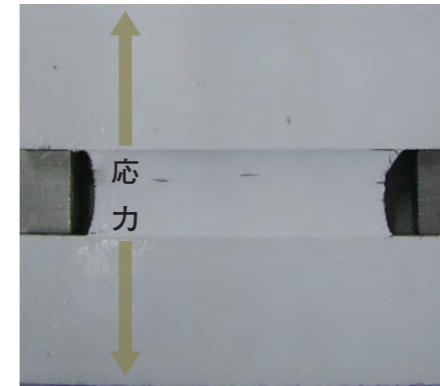


柔軟性

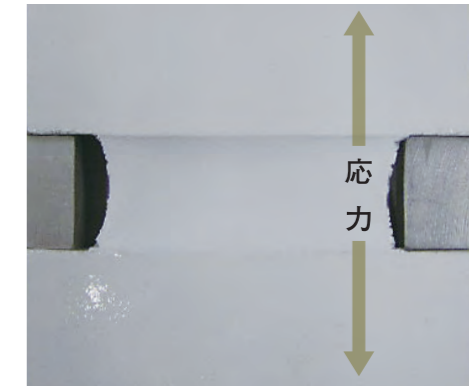
ひび割れしにくい塗料です。

柔らかいシーリングの上に塗られた塗膜は下地の動きによりひび割れが発生しやすい状況にあります。超低汚染性を維持しつつ、柔軟性をもたせることにより、シーリング材に塗ってもひび割れしにくくなりました。防水形仕上塗材の上塗りにも適用可能です。

伸長時ひび割れ試験



従来の弱溶剤形フツソ
20%伸長時に、ひび割れが発生



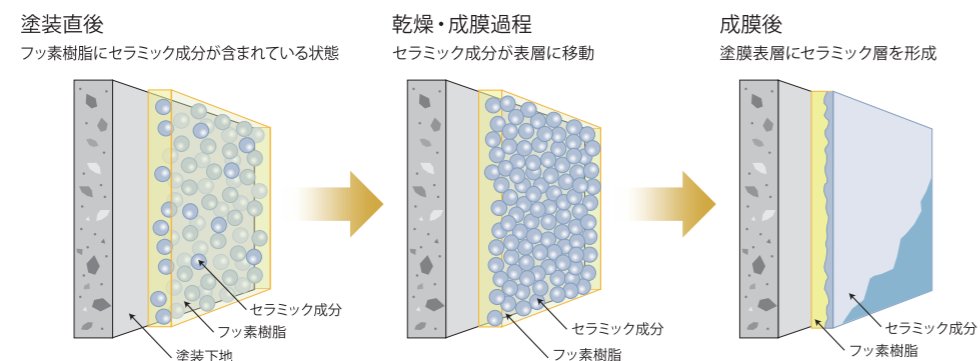
ダイヤナチュラルフツソ
40%伸長時も、ひび割れが発生しない

低汚染性

汚れにくい性質の塗料です。

最新のセラミックハイブリッド技術により、静電気を帯びにくく薄い水の膜が塗料表層を覆っている状態を作ります。埃や塵が付着しても、雨水とともに自然に洗い流され、壁が汚れにくい設計です。また、防カビ性も高く、壁に付着するカビに対して高い抵抗力を発揮し発生を抑制します。

セラミックハイブリッド塗料の塗膜構成



安全性

環境と人にやさしい塗料です。

鉛を使用していない為、環境にやさしく安全性に優れています。また、強溶剤形塗料に比べ低臭で人にもやさしい塗料です。

